

編集委員長からの便り

神戸大学大学院国際協力研究科
編集委員会委員長 豊田 利久

本誌が創刊されたのは1993年6月であるから、現時点で丁度8年が経過したことになる。神戸大学国際協力研究科所属のスタッフを中心とする研究活動の成果を発表する場として、大きな役割を果たしてきた。また、最近2年間のうちに次のような編集上の改革を行った。このことをお伝えし、今後も各方面からのご協力を頂きたい。

第1は、2000年度からそれまでの年2回の刊行を改め、年3回の刊行に踏み切ったことである。執筆希望者は執筆機会を増やせば増加するだろうという予想が見事に的中し、その後も原稿不足に悩むことはない。

第2は、2000年度から大学院生(後期課程在学者)の応募論文については、そのテーマに相応しい査読者(レフェリー)を学内外の専門家に依頼して、その報告結果を尊重して掲載の可否を当委員会が決定していることである。このことは大学院生にもより完成度の高い論文を提出してもらい、本誌の水準を維持したいという希望とともに、本誌に対する外部評価に堪えて行きたいという姿勢を示すものである。

今後は、国際協力の各分野の第一線の専門家を本研究科スタッフから推薦してもらい、本誌への投稿を依頼して、本誌の知名度をさらに広く広げて行きたいと願っている。